

下達法 小隊長ニ口達後印刷配布ス

五 沖作命甲第一號 沖繩守備隊命令受領ス 七、八、九、一〇、一一、一二、一三、一四、一五、一六、一七、一八、一九、二〇、二一、二二、二三、二四、二五、二六、二七、二八、二九、三〇、三一、三二、三三、三四、三五、三六、三七、三八、三九、四〇、四一、四二、四三、四四、四五、四六、四七、四八、四九、五〇、五一、五二、五三、五四、五五、五六、五七、五八、五九、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七〇、七一、七二、七三、七四、七五、七六、七七、七八、七九、八〇、八一、八二、八三、八四、八五、八六、八七、八八、八九、九〇、九一、九二、九三、九四、九五、九六、九七、九八、九九、一〇〇 嘉手納農林學校

沖作命甲第一號 沖繩守備隊命令披萃左ノ如シ

一 獨立歩兵第十五聯隊ハ沖繩到着ト共ニ予ノ指揮ニ屬スニシテ

又獨立混成第四旅團ノ部ハ本島ニ到着セリ

三 地區ノ區分ヲ左ノ如ク定ム

直轄地區

津堅島北端 神山南端 空青崎ノ線

中頭地區

伊新島北端 城 原 熱田原ノ線

國頭地區

古宇利島西端 羽吉 八重岳

伊江島地區

部間原ノ線

線六南(西)方地區ニ含ム

(六) 伊江島地區隊ハ伊江島ヲ守備スシ

一部ヲ渡久地ニ配備シ本島トノ交通ヲ確保スシ

(七) 京線駐ハ伊江島ト本島間及旅團司令部間ヲ連絡スシ

軍通信ノ整備セル、迄各隊ハ取アヘス地方通信(警察

遞信 鐵道順ニ利用スシ

但シ防諜上ノ注意ヲ要ス

ハ各部隊ハ自隊ノ外現ニ禁域ヲ實施スル地方官民ヲ使用ス

速ニ地下設備ヲ増強シ嚴ニ空爆及艦砲砲撃ニ對スル人員ヲ

暑及重要資材ノ掩護ヲ確實ニスルハシ

沖作命甲第一號別紙 軍隊區分

伊江島地區隊 長 獨立歩兵第十五聯隊隊長 西村大尉

獨立歩兵第十五聯隊第三大隊

獨立歩兵第十五聯隊隊部

六大隊ノ部伊江島飛行場着陸シ伊江島國民學校ニ宿營ス

七、現在ノ人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二〇	六八	二八八	三七六

七月九日  
日曜日 晴  
沖繩縣嘉手納  
縣立農林學校

一、〇、〇大隊長歸隊ス  
二、〇、四、五西休命令第三號大隊命令下達ス 嘉手納縣立農林學校  
西休命令第三號大隊命令  
一、狀勢ハ近迫シ微アリ  
二、大隊(孤ヲ附セル)ハ伊江島ハ警備ヲ命セラル  
三、大隊兵力大部ハ道路輸送機ニ依リ伊江島ニ着陸警  
備ニ着ク  
四、大隊本部(主力)及前記以外ハ兵力ハ明日十日嘉手納ヲ出發シ  
自動貨車ヨリ前線各名護送ヲ先ニ渡久地ニ向ヒ前進  
渡久地ヨリ曉部隊ハ船舶輸送ヨリ現地ニ赴クシテス  
五、在嘉手納第三大隊(第中隊)及配屬聯隊砲小隊ニ際シハ山寺  
中尉ヲ指揮ヲ以テ一四、〇出發道路渡久地ニ向ヒ同地ニ泊リ上  
十日現地ニ赴クシ

六、配屬聯隊砲小隊ハ先任者ヲ指揮ヲ以テ七月十日一三、〇出發渡久  
地ニ泊リ、二十日現地ニ赴クシ自動貨車五台配屬豫定)  
七、余ハ明日十日嘉手納出發途中一泊、上現地ニ先行ス  
大隊長 西村大尉  
下達法 命令受領者ヲ集メ、口達筆記セシム  
三、大隊一部伊江島飛行場ニ着陸伊江島國民學校ニ宿營  
同時ニ同島警備ニ着ク  
四、西日命令第五號大隊命令下達ス 一、三、三嘉手納農林學校  
西日命令第五號大隊命令  
一、陸軍軍曹 熊田外貴内  
陸軍上等兵 佐藤信義  
陸軍上等兵 大川 明  
右事務連絡ノ夕日歸隊豫定ヲ以テ那霸市ニ出張ヲ命ス  
大隊長 西村大尉

七月十日  
月曜日 晴  
沖繩縣中頭郡  
本部國民學校

五現在人員左如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員				

一 西日命第九日西日命第三號ニヨリ山寺中尉、指揮ヲ以テ自動貨車

ニ通信隊ヲ左記ノ者配屬ス

左記

陸軍兵長

西川 博

陸軍上等兵

森田 竹男

陸軍一等兵

森 茂

三 一七、途中中頭郡事渡久地着本部國民學校ニ宿營ス

四 西日命第六號下達ス

一三、嘉手納農林學校

西日命第六號大隊命令

一 陸軍軍曹 飯佐 喜雄次

明十日事務連絡ヲ以テ即日歸隊豫定ヲ以テ首里市第四十四隊

團司令部ニ出張ヲ命ス

大隊長 西村 大尉

五 西日命第四號 大隊命令

本部國民學校

西日命第四號 大隊命令

一 大隊(第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第一百) 本部國民學校

宿營シ明日出發ヲ準備セントス

(二) 明十日、乘船時刻ハ一三ニテ豫定ス同時ニ港ニ集合ス

(三) 本夜、警戒ハ三人哨ヲ動哨トシテ警戒ス(不寝番ヲ兼ス)

警戒地域ハ學校内其、宿泊シタル場所ト周圍トス特ニ空襲

警戒及火災豫防ニ注意ス

警戒兵、差出シ中隊ハ第九中隊トス警戒時間ハ十日ニテヨリ十一日

五、この空襲に際しては第九中隊全カヲ以テ防空射撃ニ従ヒ  
モトス

四、余八國民學校表玄関應接室ニ在リ

大隊長

西村大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ、口達筆記セシム

六、現在人員左ノ如シ

區分	將	技	下士官	兵	計
人員					

七月十一日

火曜日 晴

沖繩縣警備部

本部國民學校

伊江島國民

一、〇九番 渡久地附近國民學校校長及地方官憲ヲ集合セシメ伊江島陸地  
構築ノ多ク勤勞奉仕ニ関シ協議セリ

二、二、〇 曉部隊協力ヨリ本部準頭ヨリ乘船伊江島ニ渡船ス

三、二、五 伊江島横橋着宿舎伊江島國民學校ニ入ル

四、伊警西作命第一號警備隊命令下達ス 伊江島國民學校

伊警西作命第一號警備隊命令

(一) 大隊ハ伊江島國民學校附近ニ位置シ至嚴ナル警備ヲ下ニ  
明十ヨリ陸地構築ヲ準備シ警備ニ着手セントス

(二) 第九中隊及機關銃隊一小隊ハ防空射撃部隊トシ第九中  
隊ヨリ學校、展望臺ニ對空監視哨ヲ配置ス

(三) 大隊副官ハ速ニ飛行場大隊(田村部隊)ト連絡シ處置ヲ  
構ス

(四) 戦備ノ度ハ乙トス

至嚴ナル警備ニ要シテ人員ハ二分ノハ休憩又ハ他ノ業務ニ  
就カシムルコトヲ得

(五) 國民學校内ニ於ケル各隊ノ配宿ニ関シハ大隊副官ヲシテ  
指示セシム

伊江島地區警備隊長

西村(信)大尉

下達法 命令受領者ヲ集メ、口達筆記セシム

五 伊警西隊命令第三號警備隊命令下達ス 一六〇〇 伊江島國民學校

伊警西隊命令第三號警備隊命令

(一) 狀況ハ相當急迫セルモノ、如シ

(二) 大隊ハ即日障地構築ニ着手セントス

(三) 第七中隊ハ當夜東北側、第八中隊ハ西南側、第九中隊ハ西北側附近

ニ於テ各個掩体ヲ機關銃中隊ハ對空射撃司掩体構築ヲ

一セリヨリ取敢ス實施スシ 細部ハ現地ニ於テ指示ス

(四) 敵機來襲、際ハ直ニ應戰シ得ル如ク各中隊ヲ小隊、對空

射撃部隊ヲ準備スシ

(五) 各中隊ハ明十二日ヨリ障地偵察ニ工事ニ着手スシ

細部ハ現場ニ於テ指示ス

(六) 余ハ明十二日本島西南方面、地形ヲ偵察シ併ニ第八中隊

第九中隊ノ障地構築ヲ指導ス

伊江島警備隊長

西村(信)大尉

下達法 各隊命令受領者ヲ集メ、口達筆記セシム

六一七〇〇大隊全將兵ヲ集令セシメ、各上司、訓示ヲ傳達シ併ニ大隊

長左記訓示ヲ行フ 訓示要旨左ノ如シ

左記

一 至嚴ナル軍紀ノ確立

二 徹底シタル工事ノ實施

三 強兵タル

四 保健衛生ニツイテ

五 防諜

六 創意工夫ノ實施

七一九〇〇大隊長伊江島村内有力者ヲ集メテ時局認識ヲ徹底

セシメ障地構築ニ関シ絶大ナル協力を要望ス

ハ現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二〇	六八	二〇	三七

七月十二日  
水曜日晴  
伊江島國民  
學校

- 一〇三、三〇大隊長非常召集ヲ實施シ戰鬪準備狀態ヲ檢ス
- 次デ各隊ハ學校周圍ノ障地ヲ構築ヲ實施ス
- 二〇五、三〇大隊長ハ各隊長ヲ伴ヒ本島各地區ノ地形ヲ偵察  
ヲ實施シ別紙附圖第一ノ如ク配備及警備擔任區域ヲ定ム
- 三二五、五〇大隊長將校全員ヲ集メ約一時間ニ亙リ築城教育ヲ實  
施シ各隊ハ右教育ニ基キ自一七、三〇障地構築ヲ實施ス
- 四一九、〇大隊長ハ伊江島村民總蹊起運動ニ臨席シ  
時局認識ヲ徹底及障地構築ニ関シ純大ナル協力ヲ援助  
要望ス
- 五、三〇中隊陸軍少尉鈴木清ヲ指揮スル一小隊(三九名)

美作命第五號第三項ニ依リ當隊ニ配屬サレ一、〇〇〇名事  
到着女子ノ指揮下ニ入ル

六 配屬隊隊砲小队ノ編成表別紙附表第一ノ如シ

七 一四〇沖作命乙第一號沖繩守備隊命令受領ス

七九一四、一  
首ニ里

- 沖繩守備隊命令
- 一 別紙計畫ニ基キ築城戰備集合教育ヲ實施ス
- 二 專習員ハ夫々所定ノ日時場所ニ於テ專習スヘシ
- 三 教育官ハ教育終了後速カニ教育成果ノ概要ヲ提出スシ

沖繩守備隊長 鈴木 少將

八 一四〇獨混四旅作命第一號獨混成第四旅團命令受領ス

三二二、一  
首ニ里

獨混四旅作命第一號獨混成第四旅團命令披草左ノ如シ

- 一 中部太平洋方面ヨリスル我南西諸島ニ對スル敵進攻ノ公算  
ハ逐日増大シツヘリ

軍ハ一部ヲ以テ伊江島本部半島ヲ確保スルト共ニ主力

ヲ以テ沖繩本島南半部ニ陣地ヲ占領シ海空軍ト協力  
 シテ極力敵戦力ノ消耗ヲ圖リ機ヲ見テ主力ヲ機動集結  
 シテ攻勢ニ轉シ敵ヲ沖繩本島南半部ニ擊テ滅ス  
 三 各地區隊ハ前任務ヲ續行スシ特ニ國頭沿岸地帯ニ陣地  
 ヲ構築シ敵ノ數騎ニ努ムルヲ要ス  
 四 國頭地區隊ハ主トシテ機動ニ依リ其ノ任務ヲ達成スルト共ニ  
 特ニ本島南半島部ノ作戰ヲ容易ナラシムルニシ  
 五 獨立速射砲第七大隊ハ一中隊ヲ伊江島地區隊ニ配屬シ  
 主力ハ嘉手納ニ位置スヘシ  
 七 各地區隊長ハ獨立高射砲第三七大隊及第二十五飛行  
 團ノ行ノ防空ノ外防衛ニ関シ其ノ担任地域内ニ在ル軍  
 直轄及區署部隊ヲ區署スルトヲ得  
 九 四日獨混四旅団命令第三號獨立混成第四旅団命令受領ス  
 獨混四旅団命令第三號獨立混成第四旅団命令

七月十三日  
 木曜日 晴  
 伊江島國民學校

一 帝國在郷軍人會沖繩支部ハ其ノ管内ニ防衛隊ヲ編成スル  
 二 旅團ノ作戰ニ當リ之ヲ指揮セントス  
 三 各地區隊長ハ担任地域内ニ在ル防衛隊ヲ裝備訓練ヲ指導援  
 助スルト共ニ作戰ニ関シテハ獨立セル任務ヲ與ヘ又ハ軍隊ノ作戰行動  
 ヲ援助セシムルニシテ依リ之ヲ指揮スルコトヲ得

旅團長 鈴木少將

三 現在人員左如シ

區分	將	枝	下士官	兵	計
人員	二	七	三	五	四一八

一 本部及各隊ハ陣地構築  
 二 第一師團大隊長等中隊隊長等ハ陣地構築状況視察ト兼テ指導ス  
 三 伊江島四日命令第一號警備隊命令下達ス  
 一 當分間一般外禁スルコト得ル外ハ各隊長ハ許可ヲ要ス  
 二 日直將校及巡察將校左ノ通り服務スルニシ

左 寛

吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉	吉
山田少尉	渡邊中尉	加藤中尉	渡邊中尉	山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
田中中尉	工藤中尉		工藤中尉	山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉
				山田少尉	中澤少尉	鈴木利少尉	鈴木利少尉

四六〇大隊長伊江島郵便局長ト通信情報等ニ関シテ

打合セヲ行フ

五九三伊江島村村長助役國民學校長在郷軍人會長ヲ

集合セシメ本島防衛ニ関シ協力ヲ要望シ先ツ二三在郷軍人

及國民學校高學年兒童ヲ閱兵スル事ニ定ム

六三〇村農業會長ニ招キ離島タル本島特性ニ鑑ミ敵來

襲時於此食糧品自給關シ島民協力厚望前會農事實行組會長集會ヲ決定ス

七 伊江島國民學校高學年兒童八名勤勞奉仕セル

區分	特 校	下士官	兵	計
人員	二一	七二	三三五	四一八

八 現在人員左如シ

七月十四日  
金澤市 晴  
伊江島國民學校

- 一 本部及各隊ハ陣地構築
- 二 對テハ大隊長同副官第七中隊担任區域ノ陣地ヲ巡察シ所要ノ指導ヲス
- 三 伊江島國民學校高學年兒童八名勤勞奉仕セル
- 四 伊警原令第三號警備隊命令下達ス 伊江島國民學校
- 五 伊警原令第三號警備隊命令
- 六 獨混四旅令第一號第三項ニ依リ獨混射砲第一大隊一中隊



配屬ナル

(一) 各一般中隊ハ左記ノ如ク巡察ヲ派遣シ警備スルニシ  
 異ノ状アル際ハ速ニ所屬中隊長及警備隊長ニ報告スルベシ  
 (二) 派遣地域 己ニ各中隊長ニ示セル地域トス  
 (三) 派遣人員 長以下三名 二組  
 (四) 一組ハ前半夜(三時以降) 一組ハ後夜(三時以降)ニ派遣  
 (五) 裝備 小銃 三 手榴彈 各人ニ發  
 (六) 合言葉ヲ左記ノ如ク定ム  
 1. 必勝 2. 信念 3. 楠公 4. 精神  
 五 伊警西作第三號追加命令  
 (一) 本職陣地偵察並ニ防衛隊指導ヲ夕三時豫定ヲ  
 以テ今歸仁村及本部村ニ出張ス  
 (二)  
 陸軍中尉 高橋 清一  
 陸軍少尉 栗石 重郎

本部

第七中隊

陸軍一等兵 山崎 吉一郎  
 陸軍二等兵 千葉 昌利

右ノ者本職ニ隨行ヲ命ス

六 伊警西日命第二號警備隊命令下達ス

一五三〇 伊江村國民學校

陸軍軍醫中尉 井手口 薫

陸軍衛生伍長 大須賀 繁永 雄

自七月十四日 二泊三日ノ豫定ヲ以テ事務連絡ノ夕ノ那覇市ニ  
 至七月十六日

出張ヲ命ス

七 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二	七	三	四

七月十五日

一 本部及各隊ハ陣地構築

土曜 晴  
伊江國民  
學校

二 伊江村國民學校高學年兒童一八名勤勞奉仕ナル  
三 大隊長〇九〇〇出發 今歸仁 本部ニ出張ス  
四 伊警西日命第三號警備隊命令ニ基キ左記者出張ス

陸軍軍醫中尉 井手口 薫  
陸軍衛生伍長 大須賀 繁小雄

五 伊警西日命第三號警備隊命令下達ス 一五 伊江村國民學校  
伊警西日命第三號警備隊命令

一 第八中隊 陸軍軍曹 今井 誠之助  
同 陸軍兵長 榎崎 喜榮造

二 右ノ者當分間大隊本部勤務ヲ命ス  
陸軍軍曹 熊田 外貴内  
同 今井 誠之助

右ノ者物資調辦ノタメ本十五日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ  
名護町及渡久地ニ出張ヲ命ス

六 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二一	七二	三二五	四一八

一 本部及各隊ハ陣地構築

二 一〇三〇大隊長本部ヨリ歸隊ス

三 二一〇〇旅團長末隊陣地構築ノ情况ヲ視察サル

四 二一〇〇聯隊本部ニ事務連絡ヲ為シ江營長末隊ス

五 伊警西日命第四號警備隊命令下達ス 伊江村國民學校

伊警西日命第四號警備隊命令

一 七月十七日十八日兩日地元村民勤勞奉仕ニ依リ左記ノ如ク

配屬ス

左記

七月十六日  
日曜日 晴  
伊江村國民學校

大隊本部 九〇名 一般各中隊 七〇名 機関銃中隊 聯隊砲小隊 各一隊

二 本部及各隊の兵員及前項人員を以て主として防空用の積穴の構築を實施スシイ江城山、西側の第九中隊、東北側の第七中隊、南側地區の本部、聯隊砲、担任トス學校周圍の積穴の本大隊副官、指示ニ基キ實施スシ

三 各中隊は速ニ各道路、村落前線ニ對シ閉塞スル處置を以テ利用シ速ニ實施シ得ル如ク準備シ置クシ

但シ是ハ併用手榴彈ヲ以テ戰車攻撃ヲ實施シ得ル如ク訓練シ置クシ

四 聯隊砲小隊の一部城山、西南側ニ配置シ得ル如ク明十七日陣地偵察スヘシ

五 各隊ハ自己担任區域内ノ基地ヲ利用スル如ク之カ消毒ヲ(燃焼ニ依ル)ラ速急ニ實施スヘシ

警備隊長 西村 大尉

下達法 各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

六 四警報號碼 警備狀況報告ヲナス別紙附録第一如シ

七 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二一	七二	三二五	四一八

七月十七日 月曜日 晴 伊江村國民學校

一 本部並ニ各隊ハ陣地構築

二 伊江村民六五〇名勤勞奉仕ヲ以テ陣地構築ヲ援助サル

三 大隊長並ニ副官陣地構築ヲ指導ス

四 一九三〇伊江村民大會同國民學校ニ開催ナル大隊長臨場ス

五 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二一	七二	三二五	四一八

七月十日  
火曜日 晴  
伊江村國民學校

一本部並ニ各隊ノ陣地構築

二伊江村民六五〇名同國民學校高學年兒童二七五名勤

勞奉仕ナル

三大隊長同副官陣地構築ヲ指導ス

四一四〇〇陸軍軍醫中尉井手口薫陸軍衛生伍長大須賀

繁雄出張ヨリ歸隊ス

五伊警備隊命令第五號 警備隊命令下達ス 一四〇國民學校

伊警備隊命令第五號 警備隊命令

(一) 來ル朝二九日 同國民學校ヨリ三〇名ノ奉仕作業ヲ受ク

依テ左記ノ如ク定ム

左記

一九日當板周圍ノ横穴並ニ陣地ノ補強ニ全員ヲ使用ス

(尾崎中尉指導スシ) 二十日二十一日兩日約半数ハ獨逸中隊ニ配屬ス

約四分ノ一聯隊砲小队ニ配屬ス約四分ノ一機關銃中隊ニ配屬ス

作業ニ関シテハ關係各隊長ニ於テ計畫指導スヘシ

(二) 自一九日、三日間飛行場大隊ヨリ約三〇名陣地構築ニ協力ス

依テ左記ノ如ク配當ス主ニテ 主要火砲 彈藥置物場

掩蔽壕(横穴)ヲ構築スヘシ

左記

一九日一般中隊各六〇名機關銃中隊聯隊砲小队大隊本部

各四〇名 二十日二十一日一般中隊約三〇名機關銃中隊聯隊

砲小队大隊本部各二十名獨逸中隊一五〇名依テハ九機關

銃六下士官一兵一四〇〇本隊前ニテ聯隊連射隊(連)

大隊本部ハ同様下士官一兵一六〇ニ迄役場前ニ差出シ本部

諏佐軍曹ノ指示ヲ受テ人員ヲ受領スヘシ作業ニ関シテハ關係中

隊長ニ於テ計畫指導スヘシ

七月十九日  
水曜日 晴  
伊江村國民學校

三 七月十九日一五〇名第一面警備演習ヲ實施ス警備步兵大隊ハ演習  
ヲ實施ス飛行場大隊及獨逸中隊ヲ除ク實施條ハ關係隊長ヲ委  
六 獨逸中隊隊長命第一號第五〇項ニテ配屬サレル獨逸連射砲  
第七大隊第一中隊諸二大尉ノ指揮スル中隊(二六名)當地賣到  
着予ノ指揮下ニル 編成表別紙附表第二ノ如シ  
七 一九三〇大隊長伊江村男女青年學校生徒ニ對シ精神訓練ヲ行フ  
八 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	八一	四三一	五三六

一 本部並ニ各隊ハ障地構築  
二 飛行場大隊ヨリ人夫三〇名障地構築ニ應援スル  
三 伊江村國民學校高學年兒二五〇名勤奉仕スル  
四 五〇名各隊毎回警備演習實施ニ警備隊長ヲ遣テ視察スル事ノ指導スル

五 伊警西命令第三號 警備隊命令 伊江村國民學校

伊警西命令第三號 警備隊命令

(一) 伊警西命令第一號第二項七月十九日警備隊中澤少尉トアルヲ  
鈴木(利)少尉ニ變更ス

(二) 伊警西命令第二號第一項 自七月十四日トアルヲ 自七月十八日ト改ム

(三) 陸軍衛生伍長 須藤安之丞  
陸軍衛生曹長 安島重雄

右者衛生材料調辦ノ夕メ自七月十九日一泊二日豫定ヲ以テ今歸仁村

出張ヲ命ス

(四) 日直並ニ巡察將校左ノ通リ服務ス

月日	日直將校	巡察將校
七月二十日	澁谷中尉	工藤中尉
二十日	加藤中尉	山田少尉
二十日	渡邊中尉	鈴木(清)少尉

三言 鈴木(利)少尉 田中 中尉

警備隊長

西村 大尉

六旅團司令部通信隊より左記者配屬せしむるに到着同時に余指揮

左記

陸軍伍長

稻垣 鹿澄

陸軍上等兵

松山 茂雄

陸軍二等兵

福野 貴

七二〇〇伊江村防衛隊全員ニ對シ大隊長訓示ヲ行フ

今現在人員左如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二	四三	四三	三九

七月三十日

一 本部並各隊ハ陣地構築

水曜日 晴  
伊江村國民學校

二 飛行場大隊より人夫三〇〇名陣地構築ニ應援セラル

三 伊江村國民學校高等児童二四四名勤勞奉仕セラル

四 伊警備司令部第四號 警備隊司令部下達ス

伊江村警備隊本部

伊警備司令部第四號 警備隊司令部

一本職 由七時至三時 二泊三日 豫定ヲ以テ警備ヲ打テ合テ警備隊指揮ヲ行フ

本部村及今歸仁村ニ出張ス

陸軍軍曹

佐藤 庄三郎

陸軍兵長

渥美 義男

右ノ者本職ニ隨行ヲ命ズ

三 本職出張不在間伊江島地區警備隊長代理ヲ任セラル

陸軍大尉

諾江 春美

陸軍中尉

尾崎 良衛

陸軍軍曹

青木 友治

右ノ者約七月三十日 三泊四日 豫定ヲ以テ事務連絡ノ事ヲ那霸市軍司

司令部に出張ヲ命ス

警備隊長

西村大尉

下達法各隊命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

五現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	九	三九	三九

七月三日

金曜日 晴

伊江村國民學校

一 本部並ニ各隊ハ陣地構築

二 飛行場大隊ヨリ人夫ニ陣地構築ニ應援セラル

三 伊江村國民學校高學年兒童ニ四〇名勤勞奉仕セラル

四 〇九番大隊長本部今歸仁村に出張ス

陸軍軍曹佐藤庄三郎 陸軍兵長渥美義男 隨行ス

五 二〇陸軍中尉尾崎良衛 陸軍軍曹青木友治

右ノ者七月三日警備司令部第四號第三項ニ依リ出張ス

六 伊警司令部第五號警備隊命令下達ス

陸軍軍曹長 池上 靜

右者前記第一泊日豫定ニ事務連絡ヲメ嘉手納球第宅司令部ニ旅命ス

七 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	八二	四三三	五三九

一 本部並ニ各隊ハ陣地構築

七月二日

土曜日 晴

二 一三〇〇獨混四旅旅命第四號獨混成第四旅團命令受領ス 嘉手納

一 軍ハ對機甲教令普及教育ヲ實施ス

二 各隊左記ノ如ク專習員(優秀下將校名)選定シ首西見陸軍司令部集合セシム

旅團司令部一獨混隊一獨立射擊隊一國頭地區隊一伊江島地區隊一

三 伊警司令部第六號警備隊命令下達ス 七二二〇六六〇〇 伊江村國民學校

陸軍主計少尉 若林 善之

伊江村國民學校

右ノ者至七月三十一日迄一日隊定ヲ以テ事務連絡トシテ名護町國頭地方事務所ニ出張ヲ命ス

(二) 陸軍中尉 渡邊 喜一

右者七月二十四日軍司令部於實施セル對機甲戰闘教令普及教育專習員トシテ那霸市ニ出張ヲ命ス

依テ七月二十四日九。近軍司令部ニ出張スヘシ

三現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	〇	三三	三九

七月三十一日

晴

伊江村國民學校

一 本部並各隊ハ陣地構築

二 陸軍中尉渡邊喜一軍司令部於實施セル對機甲戰闘教令教育參加トシテ出發ス

三 伊江村男女青年學校生徒ニ名勤勞奉仕ナル

四 大隊長若林主計少尉並ニ隨行者歸隊ス

五 伊警司令部第七號警備隊命令下達ス 伊江村國民學校

伊警司令部第七號警備隊命令

一日直及巡察將校左ノ如ク服務スヘシ

月日	道	巡察
七月三十一日	滋谷中尉	工藤中尉
	加藤中尉	鈴木(清)少尉
	田中中尉	山田少尉

六 大隊長 將校全員ニ對シ陣地構築指導ニ關シ教育ヲ實施ス

七 大隊長伊江村國民學校高學年男女兒童ニ對シ時局ヲ認識スル自發的協力ヲ要望ス

八 現在人員左ノ如シ



七月十四日  
月曜日 晴  
伊江村國民  
學校

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	八〇	四三五	五三九

一 本部並各隊、陣地構築

二 伊江村男女青年學校生徒二〇名勤務奉仕ス

三 頭一〇〇〇ニ亙リ大隊長各隊陣地ヲ巡察シ所要、指導ヲナス

四 伊警曹日命第八號警備隊命令下達ス 七二四一五〇〇 伊江村國民學校

伊警曹日命第八號警備隊命令

陸軍准尉 向山久治

右、者頭 七月十四日 泊二日、豫定ヲ以テ事務連絡、夕メ嘉手納

第六七五〇部隊ニ出張ヲ命ス

二 明二十五ヨリ當分、間衛生兵一名炊事業務援助ヲ命ス

人員ハ醫務室ニ於テ適宜選定ス差出スヘシ

五 一八三〇伊江村 警備部、懇談會ニ大隊長並將校全員出席ス

六 現在人員左、如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	八〇	四三五	五三九

一 本部並各隊、陣地構築

二 伊江村男女青年學校生徒二〇名勤務奉仕ナル

三 一三〇〇大隊長各隊長 各隊、陣地構築、情況ヲ觀察ス

四 伊警曹日命第九號 警備隊命令下達ス 七二五二四〇〇 伊江村國民學校

伊警曹日命第九號 警備隊命令

一 伊江島地區警備規定、各隊一部宛配發ス

本規定、附表第一、本月末日迄返納スルモノトス

本規定 附録第二、如シ

七月十五日  
火曜日 晴  
伊江村國民學校

四 育令第三項ノ陸軍中尉尾崎良衛陸軍軍曹青木友治  
出張ノ件三治四日マルラ四治五日ト訂正ス

三 別紙計畫ニ基キ臨時救護班教育ヲ命ス

四 陸軍衛生講習官長谷川英之助

明三六日、當分間在渡入地軍石小隊ニ分遣ヲ命ス

五 陸軍軍曹 熊田外貴内

陸軍一等兵 馬上 弘

右ノ者明二十六ヨリ二泊二日豫定ヲ以テ事務連絡ノ名護町及本部

町ニ出張ヲ命ス

別紙 臨時救護班教育實施豫定表

日	時	課目	教官	助教
十二	自一〇時至一六時	繙帶術	長谷川	大須賀伍長
日七	自一〇時至一六時	三角中	尉	須藤伍長
十二	自一〇時至一六時	止血法	尉	鴫田軍曹
日	自一〇時至一六時	衛生法	見習官	鴫田軍曹
十二	自一〇時至一六時	管針並ニ創處置	同	須藤伍長
日九	自一〇時至一六時	担架術	中尉	鴫田軍曹
三	自一〇時至一六時	綜合演習	同	全員
日	自一〇時至一六時	同	同	同

備考 (1) 場所ハ青年學校下ス (2) 日時場所ハ教育ニ依リ適宜ニ變更スベシ (3) 勤務ニ支障ナキ衛生兵ハ出張スベシ

五 現在人員左ノ如シ

區分	將校	下士官	兵	計
人員	二四	八〇	四三五	五三九

七月二十六日  
水曜 晴

一 本部並ニ各隊ハ陣地構築  
二 〇八〇渡邊中尉大隊下士官以上(分隊長並ニ)對機甲戰